

事務事業名		盛小学校校舎改築事業		☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	0:6:豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度 ~) ☒ 期間限定複数年度 (計画期間) 19 年度 ~ 22 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入		予算科目				
	施策名	2:7:義務教育の充実				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0:1:学校施設・設備の整備・充実				01	10	02	01	28
根拠法令										
所属	部課名	学校教育課								
	係名		電話	0192-27-3111						
			内線	286						
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画 (期間限定複数年度のみ)				
盛小学校の校舎は建設されてから約40年経過して、老朽化が著しく学校活動に支障をきたしている。そのため、校舎を改築して安全・快適な学習環境を整備する事業である。 年度ごとの事業内容としては、平成19年度に現在の校舎の耐力度調査、20年度に実施設計、21~22年度に校舎の建設を行なう。また、平成19年度から校舎完成まで盛小学校校舎建設委員会を設置し、様々な意見交換を行なう。						総 投 入 量 (千 円)	事 業 費 内 訳	国庫支出金	286,000	
								都道府県支出金		
								地方債	552,000	
								その他		
								一般財源	506,000	
								事業費計 (A)	1,344,000	
								人件費		
正規職員従事人数	3									
延べ業務時間	6,000									
人件費計 (B)	24,000									
トータルコスト(A)+(B)								1,368,000		

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		単位	
校舎の建築工事に着手し、順調に施工した。		ア	建設委員会開催回数
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		イ	
事業完了により計画なし		ウ	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
盛小学校校舎		名称	
		単位	
		カ	校舎の面積
		キ	m ²
		ク	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
盛小学校の校舎が改築される。		名称	
		単位	
		サ	校舎の面積
		シ	m ²
		ス	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
安全・快適な学習環境がある。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業内訳	単位						
		千円						
投入量	国庫支出金	千円					320,387	138,329
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円				30,700	177,100	368,700
	その他	千円						
	一般財源	千円			6,199	2,407	16,353	7,859
	事業費計 (A)	千円	0	0	6,199	33,107	513,840	514,888
	正規職員従事人数	人			5	5	3	3
	延べ業務時間	時間			1,500	1,500	3,000	1,500
	人件費計 (B)	千円	0	0	6,000	6,000	12,000	6,000
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	12,199	39,107	525,840	520,888
活動指標	ア	回数			2	5	1	1
	イ							
	ウ							
対象指標	カ	m ²			4334	4334	4334	4334
	キ							
	ク							
成果指標	サ	m ²			0	0	2205	1440
	シ							
	ス							

事務事業ID	1296	事務事業名	盛小学校校舎改築事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

学校施設が多ことから計画的に事業を進めているが、盛小学校の校舎は老朽化が進んでいて、児童の学習環境に影響があることから事業を開始した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

宮城県沖地震が懸念されるなど防災意識が高まりを見せていて、義務教育の施設としてだけではなく災害時の避難所としての機能などが求められるようになった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

学校、児童の保護者、地域住民から早期に改築を行なってほしいという要望が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 整備を進めることにより義務教育の充実に結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 義務教育に係る事業なので市が行う。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 盛小学校の校舎全体を改築するので、これ以上の追加・縮小はできない。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 建設委員会との意見交換を行ないながら事業を進めているので、これ以上の成果の向上余地はない。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 義務教育を受ける児童に対して安心・快適な学習環境を提供することが困難となる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] ☐ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 校舎の設計にあたっては精査をしている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 通常の業務ではなく特殊な業務であるので、これ以上の業務時間の削減や外部委託はできない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 義務教育に係る事業なので受益者負担はない。

事務事業ID	1296	事務事業名	盛小学校校舎改築事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 特になし。																					
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容)		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者

学校教育課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	校舎改築について、適切な業務がなされている。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 21年度工事着工し、第1期工事が完了した。22年度は引き続き第2期工事を進め秋に完成予定した。校舎改築についての事務事業量が膨大であり、人員増が無いところで、その処理について工夫が求められる。現状どおり継続して事業を実施する。																						
(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
